

記載の内容の訂正とお詫び（修正表）

2024年4月24日 作成

「令和4年度国際漁業資源の現況」において、記載内容に誤りがございました。皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。誤りの部分につきましては、下記のとおり修正いたしました。

| ファイル | 箇所 | 修正前 | 修正後 |
|---------------------------|--------------------------|---|---|
| 30 カツオ 中西部太平洋 (詳細版) | P.1 右列5～7行目 | 目標管理基準値を漁業がないと仮定して推定した産卵親魚量の50%とすること、さらに漁獲管理ルールを含む管理方式に合意した。 | 新たな目標管理基準値や、漁獲管理ルールを含む管理方式に合意した。 |
| | P.5 右列14～15行目 | 産卵親魚量は、漁獲がなかったと仮定して推定された産卵親魚量の | 産卵親魚量の減耗率（漁獲がなかったと仮定した産卵親魚量に対する産卵親魚量の割合）は |
| | P.6 ☒ 12. キャプション1～2行目 | 産卵親魚量／漁獲がなかったと仮定して推定された産卵親魚量、 | (削除) |
| | P.6 ☒ 13. キャプション3～5行目 | 漁獲がなかったと仮定して推定された産卵親魚量に対する産卵親魚量の割合： | (削除) |
| | P.6 ☒ 13. キャプション5～6行目 | 点線は2022年WCPFC年次会合で合意された目標管理基準値である漁獲がなかったと仮定して推定された産卵親魚量の50%を示す。 | 点線の0.50は2022年資源評価時点まで（暫定）目標管理基準値として合意されていた産卵親魚量の減耗率50%を示しており、同年のWCPFC年次会合で合意された目標管理基準値（50.5%）とは異なるので注意。 |
| | P.6 左列5～7行目 | 近年の減耗率（漁獲がなかったと仮定した産卵親魚量に対する実際の産卵親魚量の割合） | 近年の産卵親魚量の減耗率 |
| | P.6 左列12行目 | ①漁業がないと仮定して推定した産卵親魚量の | ①産卵親魚量の減耗率 |

(次頁へ続く)

(続き)

| ファイル | 箇所 | 修正前 | 修正後 |
|---------------------------|------------------|--|---|
| 30 カツオ 中西部太平洋 (詳細版) | P.6 右列1行目 | 目標管理基準値を漁業がないと仮定して推定した産卵親魚量の50%とすること、さらに漁獲管理ルールを含む管理方式に合意した。 | 目標管理基準値を2つの産卵親魚量の減耗率、すなわち①2018～2021年の平均産卵親魚量の減耗率及び②漁獲管理ルールが用いる基準年の漁獲水準(後述)が続いた場合に平衡に至る産卵親魚量の減耗率、を50:50の比率で平均した値(2022年資源評価時点で50.5%)にすること、また限界管理基準値を20%にすること(図12及び図13右)、さらに漁獲管理ルールを含む管理方式に合意した。 |
| | P.8 要約表 管理目標 | 漁業がないと仮定して推定した現在の資源量の50%とすることが2022年のWCPFC年次会で合意されている。 | 産卵親魚量の減耗率(漁獲がなかったと仮定した産卵親魚量に対する産卵親魚量の割合)50.5%を維持する |
| | P.8 要約表 資源の状態 | 最近年(2021年)の産卵親魚量は、漁業が無いと仮定した場合の約46%程度である。 | 最近年(2021年)の産卵親魚量の減耗率は約46%である。 |

(次頁へ続く)

(続き)

| ファイル | 箇所 | 誤 | 正 |
|---------------------------|--------------------|---|--|
| 30 カツオ 中西部太平洋 (要約版) | P.1 資源状態 7～8 行目 | 最近年 (2021 年) の産卵親魚量は、漁獲がなかったと仮定して推定された産卵親魚量の約 46%であった。 | 最近年 (2021 年) の産卵親魚量の減耗率は、約 46%であった。 |
| | P.2 管理方策 2 行目 | 目標管理基準値を漁業がないと仮定して推定した産卵親魚量の 50%とすること、さらに漁獲管理ルールを含む管理方式に合意した。 | 目標管理基準値を 2 つの産卵親魚量の減耗率、すなわち①2018～2021 年の平均産卵親魚量の減耗率及び②漁獲管理ルールが用いる基準年の漁獲水準 (後述) が続いた場合に平衡に至る産卵親魚量の減耗率、を 50 : 50 の比率で平均した値 (2022 年資源評価時点で 50.5%) にすること、また限界管理基準値を 20%にすること (図 12 及び図 13 右)、さらに漁獲管理ルールを含む管理方式に合意した。 |
| | P.2 要約表 管理目標 | 漁業がないと仮定して推定した現在の資源量の 50%とすることが 2022 年の WCPFC 年次会合で合意されている。 | 産卵親魚量の減耗率 (漁獲がなかったと仮定した産卵親魚量に対する産卵親魚量の割合) 50.5%を維持する |
| | P.2 要約表 資源の状態 | 最近年 (2021 年) の産卵親魚量は、漁業が無いと仮定した場合の約 46%程度である。 | 最近年 (2021 年) の産卵親魚量の減耗率は、約 46%である。 |

以上